

20171210 「はじめに言が」

目標： 暗唱聖句から、信じることとその報いについて考察する。

聖書箇所：ヨハネによる福音書1章1節～18節 時間：10分

暗誦聖句：「しかし、彼を受け入れた者、すなわち、その名を信じた人々には、彼は神の子となる力を与えたのである」（ヨハネ福音書1章12節）

道具： ホワイトボード、ペン

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 幼稚園児×2

留意点： 当該テキストで「テキスト研究」の内容を伝えるのは、対象児童にとり哲学的思考に過ぎる。暗唱聖句の方に集中し、主を迎える準備としての信仰の大切さを伝えたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	今日はアドベントの第二週めです。 アドベントとは、待降節と訳されます。イエス様をお迎えする準備をするように定められている時期です。		質問してみても良い。考えさせて、課題研究に入る。
課題探究	6分	イエス様をお迎えするにはどういった準備が必要ですか。  イエス様が来られます。迎える私達は、どういう心が大切なのでしょう。  お客さんがどういう理由で来るかが、とても大切なのではないでしょうか。  イエス様は何をしに私達の所に来るのでしょうか。 神の子とは神様が特別に愛する存在で、神様が私達の親になるということ。 そのためには何が必要だと言っていますか。 これは、つまりイエス様を救い主と信じるということです。その人は、神の特別な存在にされるのです。 このことをよく考えてほしいのです。その事こそ、イエス様をお迎えするのに一番大切な準備なのです。 クリスマスに向けて、良い備えをしましょう。特に今日学んだのは、イエス様を救い主として信じる信仰こそ、迎える準備で一番大切なことなのです。 暗唱聖句	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスツリー</li> <li>・プレゼント</li> <li>・飾り付け</li> <li>・解らない</li> <li>・迎える心</li> <li>・難しい</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私達を救うため</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・彼を受け入れる</li> <li>・彼の名を信じる</li> </ul>	<p>「どういう準備を？」と板書する。 恐らく出てくるのは目に見えるものだけだと思われる。ある程度挙げさせた上で、心のありようについてはどうかと質問する。 「どういう心で？」と板書する。 具体的に大切なお客様がこられる場面を想定して、考えさせると良いだろう。 いくつか具体例を挙げて、理解を助ける。「何か手伝って下さい」だったら、こちらで出来るかどうか考えて、迎えるかどうか検討しなくてはならないし、「プレゼントを持ってくる」のならば、相手を歓迎し、受け取るに相応しい姿であるべき。 これは子どもたちの口から出るだろう。その上で暗唱聖句から教師が神の子となる力を与えるために来たことを述べる。 神の子供の補足説明  暗唱聖句で考えさせる。</p>
まとめ	2分			信仰のない迎え方を、世の中の例で挙げると、理解しやすくなるのではないかと思う。